



実際に行的てみよう！『蓬萊橋』

ほうらいばし

～ 世界一長い木造歩道橋 ～

Myしずおか日本一では静岡県が日本一のものを集めていますが、物や場所の日本一はやはり自分の目で見てみたいですね。今回は木造歩道橋の長さとしては日本一を飛び越えて世界一に輝き、映画やドラマでもたびたび利用され、観光スポットになっている蓬萊橋へ実際に訪れてみました。

ちょっと度胸試し

897.4mの長さに注目しがちですが、幅は2.7mと狭いので、渡る人が多い時は他の人にぶつからないように気をつけましょう。また、手すりはかなり低く、遮る物がないので風がよく当たります。橋の上では、はしゃがずにゆっくり渡りましょう。



手すりの高さはおよそ50cmほどです。そして渡ろうとすると木造なので「キュッ」という音がします。慣れない人は気合を入れて渡りましょう。

風景に気を取られていると、真ん中の位置を見逃してしまいます。写真を撮りたい人は気をつけましょう。

番小屋の近くのマンホール、橋が無かったころの川越人足の様子が描かれています。



夜間はとても幻想的

蓬萊橋は生活に使う人も居るので夜も渡れます。橋の両脇にある照明器具が昼間の太陽光を集めて発光、大井川に光のラインが浮かびます。



夜間にわたる場合は、番小屋が閉まっているので料金箱に渡橋料金を入れましょう。



オススメ撮影スポット

橋を渡ってすぐ右側にある斜面を下るとちょうど橋を下から撮ることができます。条件が揃えば木々の葉と橋の向こうの富士山を同時に捉えることができます。また、左側には島田商工会議所青年部と静岡県立島田工業高等学校が製作した大型フォトフレームもあります。記念撮影にはピッタリですね。



ここから下の撮影スポットに行けます。急斜面になっているので注意して降りましょう。



撮影した日は天気は今ひとつでしたが、天気の良い日は富士山を見ることができます。



記念撮影はもちろん、フレームの後ろで蓬莱橋を撮影すると、周りの木々が自然のフレームとなって綺麗に撮影できます。



橋のさらに先には

渡ってすぐに引き返してしまう観光客もいますが、さらに奥に行くと牧之原台地に出ることができます。ここから眺める大茶園は一面の緑で圧巻の眺めとなっており、産出量や収穫量といった、「茶の都」にまつわる様々な日本一に貢献しています。



途中の分岐を左に進むと蓬莱峡に寄ることができます。また、途中には七福神も祀られています。



見わたす限りの大茶園です。富士山がある方向を撮っているため、天気が良ければ一緒に撮れるかもしれません。

蓬莱橋の近くにはふじのくに茶の都ミュージアムや大井川鉄道、川根温泉、富士山静岡空港など様々な施設があります。ガイドや冊子を見て、ドライブや旅行先を決めるのも良いですが、時には統計データや、Myしずおか日本一から気になる場所を探してみてもはいかがでしょうか。

"ふじのくに"には日本一がたくさん！

「Myしずおか日本一」ホームページ <https://www.pref.shizuoka.jp/j-no1/>

